

鳴神山～吾妻山山行報告

【山行日】2025年 4月 20(日) 曇り時々晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 1,300円

【メンバー】CL:鈴木、SL:岸 飯野、植竹、
大塚、並木、根本、渡邊カ

【コースタイム】岩舟支所 6:00＝大滝登山口

P7:00/7:15～肩の広場 8:40～鳴神山 8:50/9:10～

肩の広場 9:15～花台沢ノ頭 9:55/10:10～大形山

11:10/11:15～伐採地 11:30/12:00～吾妻山

13:20/13:30～吾妻公園 P14:10/15:00＝

岩舟支所 P16:00

ロングトレイルを歩きたいというリクエストがあり3コースを計画したが、私の体調不良で前の2コースは歩けなかった。最後のこのコースは歩かなくてはと、万全の体調ではなかったが実施した。岩舟支所を6:00に出発して国道50号線を桐生市に向かい、桐生市街を通過して吾妻公園に寄りトイ



レを済ませる。ここから県道66号線を梅田町に向かって進み、梅田町3丁目交差点を左折し4Km 程走ると大滝山荘の駐車場に着く。出発の準備を整えストレッチを済ませると、元気なお姉さんが来て「車が邪魔だ!!」と怒られる。車を避けるとお姉さんが車を止めたので、「ここに車を止めて大丈夫ですか?」と聞くと OK との返事。以前は樹徳高校大滝山荘の駐車場で、駐車禁止の看板が立っていたが今は無く、我輩の車もここに止められた。大滝山荘前の石の鳥居をくぐって登山道を進み、

沢沿いの広い道を登って行く。直ぐに大滝が現れるが、左岸の急坂を直登し再び登山道に出る。

広い登山道が終わると沢の中を進み、やがて沢を離れて新道と旧道の分岐に出る。ここは直登の旧道を進み、薄暗いヒノキ林の中を登ると肩の広場に出る。ここは十字路になっており、駒形登山口から登山者が次々に登ってくる。小休止して呼吸を整えたら鳥居の脇を進み、岩場の急坂を一登りで鳴神山山頂に着く。山頂には大勢の登山者が休んでいて、満開のアカヤシオをカメラに収めていた。山頂には祠が並び、山頂標識やベンチがいくつも並んでいる。1000mに満たない山だが360度の大展望が得られ、晴れていれば富士山まで望める。皆さん展望を楽しみながらアカヤシオの花を夢中でスマホに収めていた。



落ち着いたらベンチに腰かけてイチゴをいただく。もうちょっと花を楽しみたい気持ちだが、今日は先が長いので吾妻山へ向かう。下り始めると目の前の仁田山岳がアカヤシオでピンクに染まっており、あまりのアカヤシオの多さに圧倒される。肩の広場までもどり、ここを直進して吾妻山への縦走路を進む。アップダウンを繰り返しながら歩く稜線は気持ち良く、芽吹いたばかりの緑が疲れを癒してくれる。後ろから「あの花は何ですか？」と声がして、右の斜面を見るとウゴクミツバツツジの



紫が美しい。最初の大きなピークが湯山沢ノ頭で、次の大きなピークの花台沢ノ頭で小休止してイチゴをいただく。同じような稜線歩きが続くが、下りが多くなるのでそれほどきつさは感じない。三峰山には大きな祠が置かれており、信仰の山だったことがうかがえる。ここから金沢峠までは長い下りが続き、峠から急な登りが始まって登り切ると大形山に着く。大形山は何処か山頂か解らない程平坦な稜線が続き、山頂で小休止しておやつタイムにする。根本さん手作りのケーキが出され、お腹が空

いていたので美味しくいただいた。エネルギーを補給して元気になり、昼食を予定した伐採地まで頑張る。前回は伐採地に植林された杉が小さく、展望が開けて休憩にうってつけの場所だったが、今回は植林した木が成長し展望が無くベンチも無くなっていた。大きな倒木がある明るい場所でランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作りランチをいただく。ランチが済んだら吾妻山に向かって出発し、「ここから1時間くらいかな」と言う「頑張ります」と力強い返事が返ってきた。アップダウンを繰り返しながら徐々に下って行き、村松峠を過ぎると女吾妻山への階段の登りが始まる。疲れた足には堪える急坂だが、1歩 1

歩踏みしめて登り反射板が建つ女吾妻山山頂に着いた。ここから一旦下って少し登り返すと、本日最後のピーク吾妻山山頂に着く。山頂には吾妻大権現を祀った石祠や案内板が立ち、大きなベンチが設置されている。東側の展望を見ながらゆっくり休憩し、冷たいフルーツゼリーを美味しくいただいた。記念写真を撮ったら皆さんをSLの岸さんにお願ひし、我輩は一足先に下山して吾妻公園に向かう。山頂から南の尾根を進み、直ぐに東に急な岩場を下って行く。その先も歩きにくい岩場が連続し、中々スピードが上がらない。ようやく平坦な舗装道路に出て、道路を橋で渡ると吾妻公園の上部に出る。ここから右の斜面はヤマツツジが群生し、オレンジ色の花が見事で疲れを忘れさせて下れる。吾妻公園に着くと予約したタクシーが待っていて、直ぐにタクシーに乗って大滝登山口に向かう。運転手さんの話では駒形登山口に何回も登山客を送り、登山口の駐車場は満車で路駐が下まで続いていたそう。大滝登山口に着き、無事車を回収して吾妻公園へ向かう。吾妻公園の駐車場に着くと皆さんが待っていて、靴を履き替えたらずに乗り帰路に着く。車の中ではアカヤシオの花が見頃だったことや、吾妻公園のヤマツツジが見事だったと満足そうに話していた。

